

八幡工高新聞

発行者：滋賀県立
八幡工業高校
新聞部
**レスリング
おめでとう号**



横浜武道館にて→
左から西川くん
坪田くん
南くん



皆が大きな声を出し、集中して取り組む。

全日本ジュニアレスリング選手権大会 U-17 48kg級 八工レスリング部初の快挙 **坪田諭依くん 2位**



↑相手を抑え込む坪田くん(青色)

U-17	60kg級	南登陽くん	5位入賞
U-20	77kg級	島本翔くん	5位入賞
U-20	87kg級	磯谷輝くん	5位入賞

南登陽くん(2-3)は「1回戦は不戦勝。運を味方につけての5位入賞」と大会を振り返る。スパーリングの追い込みや減量など、苦勞を積み重ねて臨んだ大会だった。大学生も出場するU-20部門に出場した島本翔くん(3-4)は5位入賞。「初めて大学生と対戦した。強かったし最初は負けると思ったが、得意の反り投げを決めることができ嬉しかった」と語った。

同じU-20部門に出場した磯谷輝くん(3-5)くんは、5位入賞という結果について「悔しい」と一言。「守りに入ってしまった。もっと攻められた」と悔しがらる姿が頼もしい。3人の次の目標は、6月のインターハイ予選で優勝し、インターハイに出場することだ。レスリング部員は総勢11人。毎日の練習にますます熱がこもる。切磋琢磨して実力を上げてほしい。

日本代表決定！ 6月キルギス・ビシュケク U-17アジア選手権大会へ 頑張れ！坪田くん



2位の賞状と銀メダルとともに

4月23、24日に横浜武道館で全日本ジュニアレスリング選手権大会が開催され、本校から出場した坪田諭依くん(3-2)が見事2位に入賞。6月19日から中央アジアのキルギスで開催されるアジア選手権大会への出場権を獲得した。日本一を目指していた坪田くん。1回戦は不戦勝、2回戦は相手を抑え込んでの圧倒的なフォール勝ち、準決勝は得意のがぶり返しを4連続で決め、テクニカルフォール勝ちで

決勝に駒を進めた。決勝は「投げ技を出すことができず、攻めきれなかった。日頃の甘えが出た」と悔しさをにじませた。同大会は、1・2年次ともにコロナのため中止。今年は無事開催され、坪田くんは「最初で最後のチャンス。絶対優勝する」という気合を持って試合に臨んだ。今大会、U-17(17歳以下)の48kg級で快挙を成し遂げた坪田君。彼の普段の体重は56kg程度という。試合前の一カ月は過酷な減量生活を過ごした。主食は玄米。鶏むね肉などのタンパク質を重視した食材や野菜を意識的に摂



取した。ジュースや菓子は当然我慢。口にするのは水・お茶のみだ。その結果、50kgまでは順調に減量できた。しかし、あと2kgがなかなか減らない。格技場の隅で、サウナスーツを着てエアロバイクをこぎ続ける日々を

乗り越え、なんとか落とし切った。坪田君は、今大会で「(親に)金メダルを見せることでがきなかった」と振り返りつつ、次のアジア選手権大会には「日本代表として日の丸を背負って行くので、表彰台の一番上に立ちたい」と金メダルへの強い意欲を見せた。あと1か月、さらに投げの技術を磨き、最後の最後まで勝ちに行くメンタル面の強化を図るといふ。キルギス・ビシュケクへ挑む坪田君を、八工の皆で応援しよう。**ファイト!坪田くん!**

「すさまじい成長」顧問倉本忠先生
やめたい・辛い 乗り越え 精神的にも強く

「みんなよく頑張ってくれた。チームの出来としてはまずまず」と倉本先生。坪田くんの大健闘には「厳しい減量を耐え抜いた。粘り強さが試合でも反映できた。すさまじく成長した」と振り返る。6月にはアジア選手権とインターハイ予選があり、7月には国体予選に挑む。「3年生は国体上位入賞を狙う。2年生3人ともにチャンスもある。1年生も体の大きい子が入ってきてくれた。皆の伸びしろは無限大」とますます意欲的だ。今後が楽しみでならない。**頑張れレスリング部!**

ところで!倉本先生ご自身もレスリング選手だったのは皆さんご存知だろうか。倉本先生は中学で柔道を経験し、高校から始めたレスリングで全国高校チャンピオンになる。大学でも学生チャンピオンに輝いた。国体には約20年連続で出場し、シドニー・アテネオリンピックの最終予選まで勝ち残ったという。・・・知らなかった、まさかそんなにスゴイ人だなんて。驚きが隠せない。体育、頑張ります。(川)